

## 長野県および京都府におけるユスラウメ系統の収集

山口 正己・八重垣英明・土師 岳

果樹試験場・育種部・核果類育種研究室

### Exploration for *Prunus tomentosa* in Nagano and Kyoto Prefectures in Japan

Masami YAMAGUCHI, Hideaki YAEGAKI and Takashi HAJI

Laboratory of Stone Fruit Breeding, Department of Fruit Breeding, National Institute of Fruit Tree Science, Fujimoto 2-1, Tsukuba, Ibaraki 305-8605, Japan.

#### Summary

Exploration for *Prunus tomentosa* in Nagano and Kyoto prefectures were conducted in February 9th and 24th, 2000. A total of 11 samples were collected from these districts. All samples are collected from farms or research fields, because there are no wild trees of *P. tomentosa* in Japan. Two samples are selected as plum rootstocks in Iida city, Nagano prefecture by Mr. T. Tsukadaira, a private breeder of stone fruit. One sample has been grown in Kyoto Botanical Garden for 75 years and 8 samples were selected for peach rootstocks in Kyoto Prefectural University.

KEY WORDS: *Prunus tomentosa*, Nagano prefecture, Kyoto prefecture, collection

#### 1. 目的

ユスラウメは、中国原産の灌木性果樹で、わが国には中国から導入されたとされている。赤色あるいは乳白色の数グラムの小さな果実をつけ、一部食用ともされるが、多くは観賞樹として利用されている。植物学上はサクラ属に分類され、モモとは同じ属になるものの比較的遠縁となる。近年、ユスラウメはモモのわい性台木として注目され、いくつかの系統が選抜されたが、枯死や果実における渋味の発生などの問題もあり、さらに多くの系統について台木特性の検討が必要となっている。しかし、ユスラウメは導入種であることから、わが国においては野生種や野生タイプは見られず、園芸苗木や台木の試験研究を行っている場所において保存が行われているに過ぎない。また、わい性台木としていくつかの重要な問題が明らかになりつつあることから、これらの保存系統も伐採されようとしているが、わい性台木の育種素材としての重要は残されている。そこで、今回は長野県、

京都府において、台木試験に供されたユスラウメの系統の調査および収集を試みた。

## 2. 調査・収集方法

国内のユスラウメ品種系統の保存状況について情報収集を行ったが、ユスラウメについては現在、系統的に保存を行っている機関は見出されなかった。このため、収集についてはモモ等のわい性台木試験を実施している機関、個人を対象とした。長野県では、飯田市在住の核果類の民間育種家である塚平貞俊氏、京都府ではユスラウメの系統選抜試験を実施している京都府立大学付属農場、およびユスラウメの1系統を保存している京都府立植物園において、聞き取り調査を行うとともに穂木または苗木の分譲を受けた。

長野県飯田市の調査収集は2000年2月9日に、京都府立大学および京都府立植物園の調査収集は2000年2月24日に行った。この時期には植物体は落葉し、果実も見られないため、調査は聞き取りを中心とした。長野県飯田市および京都府立植物園のユスラウメ系統は穂木で分譲を受け、2000年4月にモモ実生台に接ぎ木を行った。また、京都府立大学の系統については、苗木の分譲を受けた。

## 3. 結果

### (1) 長野県飯田市、塚平氏園における調査収集

同氏は核果類の民間育種家として、モモや各種台木の品種育成を実施している。ユスラウメについては、かつてモモ、スモモ等の台木の素材として系統を収集し、圃場に保存を行っていたとのことであるが、1998年の圃場基盤整備の際に保存系統のほとんどを伐採し、現在は2系統のみを保存しているとのことであった。このうちの1系統は、ヨーロッパスモモの台木に同氏が選抜を行ったもので、接ぎ木不親和がなく、樹勢抑制効果を持つとされるものである。また、もう1系統はニホンスモモの台木に用いられていたもので、ニホンスモモと直接接いだ場合には接ぎ木不親和が現れるため、ニホンスモモとミロバランスモモの雑種とされる‘メスレー’を中間台として使用しているものであるとのことであった。これらユスラウメ2系統の他、赤葉で材の赤いミロバランスモモの1系統および中米原産のサクラの1種であるキャプリンチェリー1系統の穂木の分譲を受けた。

### (2) 京都府立植物園における調査収集

同植物園においては、戦前よりユスラウメ、ニワウメをそれぞれ数系統ずつ保存していたとのことであったが、第2次大戦後ほとんどが失われ、現在はユスラウメ1系統を保存しているとのことであった。このため、同植物園の園内に保存されている1系統の穂木の分譲を受けた。

### (3) 京都府立大学農学部付属農場における調査収集

同農場においては、モモのわい性台木の品種育成試験を実施している。育種の素材としてユスラウメに注目し、岡山大学農学部より数系統のユスラウメを導入し、それらの交雑を行い得られた実生について、モモとの接ぎ木試験を行っているとのことであった。ユスラウメ台にモモを接ぎ木した場合、接ぎ木部位の材部に褐変が起り、それが次第に拡大して接ぎ木樹の枯死に至るという現象が知られているが、同大学では心材化や透水性の測定により、個体の選抜をしている。今回、分

譲を受けた系統は、こうした選抜を経た6系統、岡山大学農学部でわい性台木として選抜された系統、および果皮色が白色となるユスラウメ白実の8系統である。

#### 4. 所感

ユスラウメはわが国には自生せず、中国あるいは朝鮮半島から渡来したとされる外来樹である。しかし、その果実は食用としては実用性に乏しいことから、わが国における品種の発展は極めて貧弱であると推定される。同じく、中国からの渡来果樹であるとされるモモの場合、江戸時代元禄年間に顕著な品種の発展が見られたことと対照的である。現在わが国に残るユスラウメは品種名を持たないが、その一方で、台木試験などからはユスラウメの系統により、モモとの接ぎ木親和性が異なることが明らかになっており、わが国のユスラウメにも遺伝的変異が存在することを示唆するものである。原産国の中国においては、ユスラウメは黒竜江省、吉林省などの東北部から内蒙古、山東省、四川省、雲南省など西域を除くほぼ全土に分布しているとされている。このためより多くの遺伝的多様性を確保するためには、中国における同種の調査収集が重要になるとと思われる。

#### 5. 謝辞

本調査収集に当たっては、長野県飯田市の塚平貞俊氏、京都府立植物園の高林成年園長および兼松信夫氏、京都府立大学農学部の中野幹夫助教授に大変お世話になり、また貴重な保存系統を快く御分譲いただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

#### 6. 参考文献

- 1) 兪徳浚(1979)中国果樹分類学. 農業出版社. 73-74.
- 2) 牧野富太郎(1935)牧野日本植物図鑑. 北隆館, 東京. 436.
- 3) 山西久夫(1995)モモ5 わい性台木の利用と課題. "果樹台木の特性と利用" 河瀬憲次 編著, 農文協, 東京.

Table 1 A list of collection of *Prunus tomentosa* in Nagano and Kyoto prefectures  
長野県および京都府で収集したユスラウメ系統等の一覧表

収集番号	植物名	学名	収集地	分譲者	来歴	系統名
1	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	長野県飯田市 上飯田丸山町1-6579	塚平貞俊	ブルー台木として 同氏が選抜	
2	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	長野県飯田市 上飯田丸山町1-6579	塚平貞俊	スモモ中間台として 同氏が選抜	
3	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立 植物園	戦前の収集系統	
4	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	岡山大島村氏より 分譲	
5	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	不詳	白ユスラウメ
6	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	5-6
7	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	5-8
8	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	5-9
9	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	5-10
10	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	15-8
11	ユスラウメ	<i>Prunus tomentosa</i>	京都府京都市左京区 下鴨半木町	京都府立大学 農学部	実生より同大で選抜	30-4
12	ミロバランスマモ	<i>Prunus cerasifera</i>	長野県飯田市 上飯田丸山町1-6579	塚平貞俊	米国より導入	
13	カプリンチェリー	<i>Prunus salcifolia</i>	長野県飯田市 上飯田丸山町1-6579	塚平貞俊	米国より導入	

## 鹿児島県奄美諸島におけるさとうきび遺伝資源の収集



さとうきび野生種 (*S.spontaneum*)  
—鹿児島県大島郡笠利町土浜—



さとうきび野生種 (*S.spontaneum*) の大群落  
—鹿児島県大島郡喜界町塩道—

## 長野県および京都府におけるユスラウメ系統の収集



京都府立大学  
農学部附属  
農場における  
ユスラウメ  
選抜系統'15-8'.  
典型的な灌木  
タイプとなる



長野県飯田市の塚平貞俊氏が保存するユスラウメ系統. 本系統はヨーロッパスモモの台木として同氏が選抜したもので、台負けがなく適度の生育を示すとされている。

## 南西諸島におけるアズキ近縁野生種の分布調査と収集



石垣島御神崎（うがんざき）灯台周辺の大きなヒナアズキ (*Vigna riukiensis*) 集団（調査地点9）。海に近い崖壁の近くの芝生にヒナアズキが点々と分布している。



沖縄本島恩納村万座毛のアカササゲ (*Vigna vexillata*) 生息地（調査地点17）。